



なでしこ



令和4年(2022年)6月30日

No.9



子どもの読書活動を、さらに推進していきます

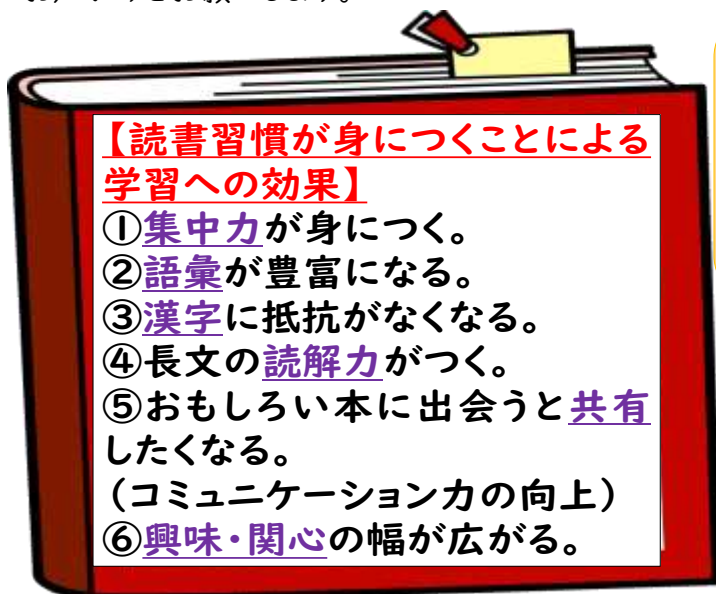
校長 中村 真理子

昨年度の学校評価(児童アンケート)において、課題として「読書活動の推進」がありました。今年度、この課題を克服し、子どもたちに読書の習慣を身につけさせたいと考え、朝の「はげみタイム」の中に全校で取り組む「読書の日」を新設しました。また、5月の1か月間、全校みんなで「読書に親しむ習慣をつける」ために、各学年・学級で特に読書活動に力を入れて取り組みました。その成果として、4,5,6年生を対象とした「滋賀県子どもの読書活動に関する調査」では、下の図のような成果が見られています。

様々なメディア機器(スマホ・タブレット・携帯ゲーム機等)の急速な普及により、読書離れが心配されていますが、本当の心配はそれだけではありません。情報通信技術(ICT)を利用する時間が増え、知りたいことを簡単に検索できるなど情報に触れることが容易になる一方で、視覚的な情報と言葉の結びつきが希薄になり、情報の意味の吟味、文章の構造や内容を的確に捉えて読み解く機会が少なくなっているのではないのでしょうか。正しい言葉遣いや適切な言い回しができなくなり、造語や省略表現などが増えてきているのは、その影響もあるかもしれません。

子どもたちは良い図書と出会うことで、本から言葉を学び、豊かな感性を磨くことができるだけでなく、場面や情景、登場人物の様子なども思い浮かべるので、想像力や表現力もおのずと高まっていきます。そこからさらに、自分の考えが形成されると、物事への興味や関心の幅も広がっていくことでしょう。また、小学校低学年からの読書によって得る、語彙の量と質の違いが、学力差に大きく影響しているとの指摘もあるなど、小学校のこの時期に、本とのふれ合いによって言語能力を養っていくことは、とても大切なことだと考えています。

あらためて読書の習慣が身につくことによる効果を、私なりに考え、下の図に書いてみました。もしかすると効果はこれだけにとどまらないかもしれません。来月以降も、図書ボランティアの皆さんによる読み聞かせや、すきま時間の読書活動を継続しながら、それぞれの学年学級において、読書指導に一層励んでまいります。夏休みに向けて、ご家庭でも子どもたちに、本を読むことについてのお声かけをお願いします。



「令和4年度 滋賀県子どもの読書活動に関する調査(草津小学校 結果)」

【対象学年】4,5,6年生全員

【調査期間】令和4年5月1日~5月31日

【本を読んだ冊数】

児童一人あたり12.08冊



今年度より、はげみタイムに「読書の日」を新設



『子どもの心に 寄り添って』



「傾聴しながら話し合う」

「傾聴」とは共感しながら話を聴くことです。聴き方には、表情や態度等、言葉以外のメッセージもたくさん込められていて、表情や態度によって相手に与える印象が大きく異なることがあります。右の「聴き方『あいうえお』」を意識して、以下の3つの話題について、お時間がある時でかまいませんので、お子さんとお話をしてみてください。

子どもたちは、好意的に話を聴いてもらうことによって、「安心して話ができたら」「分かってもらえた」と感じます。子どもの心に寄り添って話を聴くことで、子どもは安心して保護者に自分の考えや思いを伝えることができるようになっていきます。

聴き方「あいうえお」

あ：相手の顔を見て
い：いい姿勢で（前傾）
う：うなずきながら
え：笑顔で
お：終わりまで聴く



【話題1】「学校には、学習に必要なでない物は持っていないことになっているけれど、あなたはどうか？学校への持ち物のことで、何か気になっていることはない？」

最近、学習に必要なでない物を学校に持ってきて、トラブルや紛失につながる事案が起きています。

例 ①ランドセルに大量のキーホルダー等の飾りをつけて登校し、いつのまにか紛失してしまう。

②制汗スプレーや整髪料等の学習に必要なでない物を持参し、友だちと一緒に使う。

③学習に必要なでない量のカラーペンやマジック等をたくさん持参し、キャップ等を落としてしまう。

※個人的に体調面等で配慮する必要のある持ち物については、個別に担任とご相談ください。



【話題2】「熱中症防止のため、体育や運動の時、下校の前などに、マスクを外すように先生たちは指導しているけど、あなたはどうしてる？」

熱中症予防のために、体育や休み時間の運動、下校前などに「マスクを外す」ように指導しています。しかしながら、様々な理由によりマスクを外さない、体調面等の理由からマスクを外せない子どももおりますので、学校では個人の意志を尊重しています。マスクをしていることで、熱がこもってしまい、熱中症になってしまったりはいけないので、マスクを外していない子どもたちには、水分補給等の声をかけているところです。今後も学校では、場面に応じたマスクの着脱について声かけをしていきますので、ご家庭でも、お子さんと「マスクを着けることと、熱中症の予防」について話題にしてくださいよう、お願いします。



【話題3】「暑い日が続いているけど、学校に持っていったお茶の量は、足りている？」

時間割や天気によって、お茶を飲む量も違うと思うけど、あなたは学校で十分に水分がとれてる？」

熱中症予防のために、水分補給はとても大切なことです。もしも、学校で水分が足りなくなってしまった時のために、学校では職員室で朝からお茶をたくさん沸かし続け、「お茶が足りなくなった。」と伝えにきた子どもたちの水筒に補給をしているところです。

お茶をたくさん持っていかうとすると、朝、子どもたちの荷物が多くなり、重たくなってしまいますので、心配して下さっているご家庭もあるのではないかと思います。各学年によって異なりますが、教室に置いておいてもよい学習用具は、できるだけ置いておくように、担任からも声をかけています。荷物が重くなりすぎないように学校でも、できるだけ配慮をしていきますので、お子様と話し合っていていただいて、本人にとって適切な水分の量を持たせてくださいますようお願いいたします。



草津市内小中学校講師：募集のお知らせ

草津市内の小中学校では講師を探しています。自薦、他薦は問いません。

市内小中学校の勤務をお願いできる方の情報を、本校あてにお知らせください。

●勤務地：市内小中学校

●お問い合わせ：草津小学校 または 最寄りの小学校



【草津小ホームページをリニューアル！「Web日記」も毎日更新しています。アクセス数、ただ今上昇中！】